



茶摘み

シシマ

かつて秋葉山一帯の丘陵地は茶畑で、"もろ"というんだそうですが、あたり一面お茶の木でおおわれていたそうです。そして新緑のころともなると、あちらこちらで娘さんたちが茶摘みに精を出す光景がみられました。

この田家地区でも以前に比べると茶畑は減っているもの
の、五月末は茶摘みシーズンのまっさかり。またその摘まれたお茶は、昔も今も、田家茶として広く親しまれているそうです。
むぎわら帽をかぶったおばあさんは「根気がいる仕事なんですヨ」と言いながら、初夏の日差しの中でかろやかに手を運んでいました。